国連薬物・犯罪事務所 (UNODC: United Nations Office on Drugs and Crime:)

設立経緯

1997年、「国連薬物統制計画」及び「犯罪防止刑事司法計画」が統合され、「国連薬物統制犯罪防止事務所」(UNODCCP)として設立、2002年に現在の名称へ変更。

組織概要

- ・本部 ウィーン(世界53ヶ所に事務所)
- ・予算 9割以上を任意拠出金に依存
- ・機能 国際組織犯罪防止条約(TOC条約)及び関連議定書, 国連腐敗防止条約(UNCAC), 麻薬3条約の事務局。また, 犯罪防止刑事司法委員会(CCPCJ)及び麻薬委員会(CND)の事務局機能も有する。

主な事業

- ①不正薬物及び犯罪に関する調査・分析。
- ②TOC条約, UNCAC, 麻薬3条約を含む関連条約の締結・実施, 国内法整備の支援。
- ③不正薬物, 腐敗, 人身取引等の組織犯罪対策及びテロ対策能力向上のための技術協力。